



備えよう！ 大切な家族を守るために

今年も地震や豪雨などの自然災害が各地で頻発しています。その中で、避難できずに取り残されてしまう犬や猫たちがいます。大切な家族の一員である彼らを守ることができるのは飼い主だけです。自身の安全についてはもちろん、大切なペットの防災対策について一緒に考えてみませんか。

出典：「人とペットの災害対策ガイドライン」(環境省) ※加工して作成

図 防災危機管理課 8611102

災害に備えた自宅での安全対策や避難先でのトラブル回避のために、飼い主が行うべき行動について次の事項を確認しましょう。日々の備えが、大切なペットを守ることに繋がります。

あなたのペットは大丈夫？

災害現場や避難所では、ペットに関する次のような事例が発生しています。

● 床一面にガラスが飛散し、人もペットも足に怪我を負った



● 外飼い猫のため、被災当日から自宅に戻らず同行避難できなかった

● ペットの受入れ可能な避難所がどこにあるのかわからなかった

● 避難してしばらく、人の支援物資はあるが、ペットフードの支援はなかった

● 避難所で犬が吠えて迷惑をかけるため、やむを得ず車中での避難になった

● 糞の放置や毛の飛散などが原因で他の避難者とトラブルとなった

● 救済物資のペットフードを食べなくて困った

● 避難所にペットとともに避難したが、特定食(治療食など)の入手に苦労した犬がケージになれていないため、過度なストレスを与えてしまった

● 他人や他の場所、他の動物に慣れないため、どこにも預けることができず苦勞した

● 予防接種をしていないペットがいないか心配だった

平時時に行うべき行動

1 住まいの防災対策

転倒・落下防止の為、家具やケージなどを固定。飼育する際は外堀やガラス窓付近を避ける。



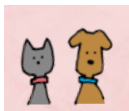
2 ペットのしつけと健康管理

「待て」「お座り」などの基本的なしつけ、各種ワクチンの接種などのほか、日頃からケージでの生活に慣れさせる。



3 ペットが迷子にならない為に

首輪や迷子札、マイクロチップなどにより所有者を明示する。



4 ペット用の避難・備蓄品の確保

ペットフード(5日分以上)、食器、予備の首輪・リード・トイレ用品などの準備。



5 情報収集

指定避難所の把握、避難所での動物が苦手な人への配慮。



6 家族や地域住民との連携

連絡方法や集合場所、ペットの避難方法などについて話し合い確認する。



7 ペットの一時預け先の確保

親戚や友人など、複数の一時預け先を探しておく。

災害発生時に行うべき行動

1 ペットとの同行避難

リードやケージなどを使用し脱走しないようにする。



2 避難中のペットの飼育環境の確保

避難環境下でのルールに従い、責任をもって世話をする。

※避難所へ行くよりも自宅が安全な場合は「在宅避難」という選択もあります。災害に対する住まいの安全チェックをおきましょう。



ペット同行避難訓練

昨年10月、市では地震や台風などの自然災害に備え、総合防災訓練を実施しました。訓練の中では「ペット同行避難訓練」も行われ、避難所でのペットとの過ごし方や受け入れる際の対応方法について確認しました。平成28年には、県内市町村初となる「災害時における動物救護活動の協力に関する協定書」を沖縄県獣医師会と締結しています。災害はいつどこで起きるかわかりません。いざという時に行動できるよう、自身はもちろんペットの防災対策について今の内から準備をおきましょう。



令和元年「総合防災訓練の様子」

Interview

はたせひろこ
畑瀬 裕子 さん
人も犬も猫も幸せ！
な街づくり隊
OKINAWA 代表



ペット同行避難訓練での様子や、ペット防災について普段から意識しておくべきポイントについてお聞きました。

いざという時、パニックにならないために

日頃から災害時を想定した生活をすることが大切です。基本的なしつけや健康管理はもちろん、避難所でも使うケージやバッグを普段から使用し、何でも食べられるようにしておくこと、他人にも慣れさせておくなど。そうすることで、災害時の不安やストレスを軽減することができます。

周りからの認知

災害はいつどこで発生するかわかりません。ペットと飼い主がそれぞれ別の場所で被災する可能性もあります。そこで、重要なのはペットを飼っていることを周りに認知してもらうこと。飼い主に問題が起きた時でも、周りが把握していることで、飼い主に代わりペットを助けることができます。



私たち『人も犬も猫も幸せ！な街づくり隊 OKINAWA』では、毎月ペット防災に関する講座を開催しています。大切な家族を守るためにも一緒に学びませんか。詳細についてはこちらよりご確認ください。



避難訓練でのペットの様子

昨年、那覇市で行われたペット同行避難訓練では、避難所という慣れない環境下でペットがどのような行動を取るのか飼い主と一緒に確認しました。

飼い主が配給に行くとき想定し一時ペットのそばを離れると、最初は戸惑いソワソワする子もいましたが、徐々に落ち着きを見せ、その場の環境に適応していました。他にも、建物地下や駐車場などを暴れずに一緒に歩くという訓練も行いましたが、全ての訓練を終始問題なく実施でき、飼い主さんが普段から適切にペットと接している成果ではないかと感じました。